



第二中だより

No. 573

開校54周年

生徒数 448名

令和2年11月2日

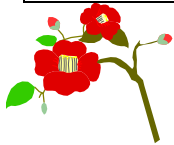
和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢1番4号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



「心揺さぶる感動」

校長 橋本 真

日ごとに冷気が加わり、校内の木々の葉も心なしか彩る季節を迎えます。**神無月**を盛り上げてくれたのが三葉祭と3年生の体育祭でした。

10月半ば三葉祭を翌週に控え、連日学校中が歌声に包まれています。校長室にもその歌声が響き、とても温かく穏やかな気持ちになります。それは皆さんからの歌を通じたメッセージのようです。私は、そんな皆さんの歌声が大好きです。中学校の合唱は、その学校の文化であり、宝物です。合唱が与える感動は歌だけでなく、歌う人の思いのこもった表情にあります。合唱は聴くだけでなく「見るもの」、「感じるもの」だと思います。耳と目、そして、その場の雰囲気を感じ取るものです。短い時間の練習、マスクの着用、仲間との距離間、様々な制約がある中の合唱ですが、感動のある三葉祭にしてほしいと願っていました。

「Our chorus is the best」10月26日、三葉祭当日、オープニングを立派に飾ってくれた6.7.8組のトーンチャイムとハンドベルの演奏は、心が洗われる音色に酔いしれました。そして、1年生の合唱。最初から常に練習に真摯に取り組んできた成果が100%発揮され、一人一人の素直さが表現された歌声でした。そして、堂々と歌い上げた2年生の合唱。昨年度とは、見違えるほどの生徒たちの底力が見え、一人一人の本気になった姿を印象づけてくれました。

午後は、3年生のやる気とプライドを感じさせてくれる瞬間でした。エンディングを飾ってくれた歌声は、体育館中に「心揺さぶる感動」が吹き込まれ、これまでの3年間の成果が伝わってきました。何よりも発表する側も鑑賞する側もそれぞれの立場、思いをお互いに温かく包み込み、支え合い、二中文化を確実に引き継い

でくれました。今年は、さまざまな、制限のある中、皆さんが、三葉祭に向けて頑張ってきた姿を知っています。二中の体育館のステージで、学年の仲間、何よりも担任の先生に心揺さぶる、感動を届けてくれました。

3年生体育祭(10月29日)

すばらしい天気の下、クラスの仲間と一体になり、競技を全力でやり抜き、真剣勝負の緊張感を思い切り楽しみました。



学ぼうとする君は、どこまでも伸びる

さて、時はスポーツ・芸術から学問の秋へと移っていきます。いろいろな知識を今まで以上に吸収する時です。人から本から学び、環境や歴史などから学ぶ。その学びのチャンスを生かすかどうかは皆さん次第です。心を開いて物を見、心を開いて話を聴く素直な心が学びを豊かにします。そして、その心の持ち方次第でいいものや必要とするものをドンドン吸収し、グングン伸びていくように思えてなりません。次の目標は、学習と進路です。1・2年生は1年後、2年後を見据えて毎日地道に学習をコツコツと積み上げ、学習を習慣化させる時期です。3年生にとっては、3ヵ月後に迫った進路実現を目指し学習に本気になって向き合い、入試という壁を乗り越える新たな挑戦の始まりです。自分の将来に真正面から真剣に向き合う時だと思います。

「霜月」からは学習に力を入れる時です。どんな時も学び多き皆さんであってください。

「人生は学びの連続である」、学びは、心を耕し、豊かにしてくれます。